



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 2818回
2014年10月25日
第 16 回 例 会
(土 曜 日)

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

2014-2015年度 R I 会長
ゲイリー C.K. ホアン

会報編集 石蔵尚之委員長

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171 ◀ 例会場 事務局 ▶ 清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505

[URL] <http://www12.ocn.ne.jp/~hrc/> [E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

くま川鉄道 「田園シンフォニー」 列車例会

人吉温泉駅18時34分発~20時26分着



た。身近にありながら田園シンフォニーに乗るのも初めてで、大変楽しみにしてまいりました。会員の皆様には御多用中にも拘らずご参加いただき有難うございます。又、くま川鉄道取締役 深水雄二総務部長にも同乗いただき、ご案内いただくことになり、大変有りがたく感謝申し上げます。

ところで、新しい田園シンフォニーには恥ずかしいですが初めて乗りました。足元に住んでいながらです。会員の皆様はいかがでしょうか。手元に有りました資料をお渡ししましたが、その中で初めて知りましたことを簡単に申し上げたいと思います。

・わたしたちに馴染み深い湯前線は、大正13年に開設され、今年90周年を迎え、くま川鉄道になって25周年の節目にあたるそうです。

・くま川鉄道にある19の施設が国の登録有形文化財に新規登録されることになりました。その中でも、川辺川と球磨川の合流地点にかかる第4橋梁は、ほとんどの会員の思い出の橋梁ではないでしょうか。

その他、木上駅の待合室やプラットフォーム、湯前駅などが含まれます。今日は暗くて見えませんが次回乗られる時はお確かめください。

田園シンフォニーの登場、そして有形文化財の指定等により、「球磨盆地の生活を支える宝」として期待されています。今夜の移動例会が地域理解と支援の一助となればと思います。大いに楽しんでください。

田園シンフォニーの登場、そして有形文化財の指定等により、「球磨盆地の生活を支える宝」として期待されています。今夜の移動例会が地域理解と支援の一助となればと思います。大いに楽しんでください。

10月 職業奉仕米山月間

点 鐘 鳥井正徳会長

歌 唱 ソングリーダー 水野プログラム委員長

国 歌 「君が代」
R S 「奉仕の理想」

司会・進行 水野虎彦プログラム委員長

来訪者紹介 鳥井正徳会長



くま川鉄道(株)
取締役総務部長 深水雄二様

会長の時間

会長 鳥井正徳

本日は、社会奉仕委員会のお計らいで地域理解と親睦を目的にくま川鉄道「田園シンフォニー」での移動例会を実施していただきまし

【連絡事項】

- ①国際ロータリー第2720地区米山記念奨学部門
秋吉実部門長から「学友会設立準備委員会」
活動へのご協力のお願いが届いています。
→葉山米山記念奨学委員長へお渡しします。
- ②人吉ロータアクトクラブから10月第二例会のご
案内が届いています。

日時：平成26年10月30日(木)19:30～20:30

場所：少林寺の道場

内容：レッツ終活例会

二次会：創菜畑ひがし 21:00～

【回覧物】

無し

【例会変更及び取り止め】

無し

【社会奉仕委員会】

委員長 片岡啓一



本日は、土曜日のしかも夜に変更しての例会に出席いただきまして、ありがとうございます。

今日の例会は、「くま川鉄道」の支援活動と鳥井会長の本年度の方針でもあります楽しい例会をと
いう趣旨を兼ねまして、社会奉仕

委員会の事業で企画いたしました。

会員の皆さんはくま川鉄道を利用される機会は少ないと思います。「くま川鉄道」の深水様には「田園シンフォニー」について、くわしくご説明
いただくことと思います。

約2時間の旅ですが、アルコールとお弁当を準備しておりますのでゆっくりと楽しんでいただきたい
と思います。

卓 話

くま川鉄道(株)取締役総務部長
深水雄二様

本日は、人吉ロータリークラブの例会開催にく
ま川鉄道「田園シンフォニー」をご使用いただき
誠にありがとうございます。例年、ビール列車ご
使用によるご支援をいただき厚くお礼申しあげま
す。

新型車両「田園シンフォニー」の説明と現況に
つきまして、資料を準備しておりますので、簡単
にご説明いたします。パンフレット、チラシは後
ほどご覧ください。

1、2ページは会社の概要と輸送人員の推移等
を記載しております。

○会社概要

- ①会社名 くま川鉄道株式会社
- ②所在地 熊本県人吉市中青井町265番地
- ③設立 平成元年4月26日
- ④営業開始 平成元年10月1日
- ⑤事業内容 鉄道事業・旅行業ほか
- ⑥事業主体 沿線自治体及び民間団体等の出資
による第3セクター方式
- ⑦資本金 1億3千6百万円
出資者 自治体；(10市町村)
人吉市 錦町 あさぎり町
多良木町 湯前町 相良村
水上村 五木村 山江村 球磨村
その他 金融機関 企業 各種団体 個人

○運転概要

- ①営業キロ数 24.8km
- ②駅数 14駅(有人駅5 無人駅9)

[④有人駅]

人吉温泉④ ⇄ 相良藩願成寺④ ⇄ 川村 ⇄
1.5km 2.9km 1.4km

肥後西村 ⇄ 一武 ⇄ 木上 ⇄ おかどめ幸福
3.4km 2.1km 1.7km

⇄ あさぎり④ ⇄ 東免田 ⇄ 公立病院前 ⇄
2.0km 2.4km 1.1km 1.3km

多良木④ ⇄ 東多良木 ⇄ 新鶴羽 ⇄ 湯前④
1.9km 1.6km 1.5km

- ③車 輛 数 8輛(新潟トランス製)
- ④運転方法 1輛の場合 ワンマン運転
2輛以上の場合 車掌乗務
- ⑤保安方式 タブレット閉そく式(区間)
人吉温泉～あさぎり
スタッフ閉そく式(区間)
あさぎり～湯前
- ⑥列車本数 15往復
内 臨時ダイヤ 1
(下り:観光 上り:通常)

ご存じのとおり、平成元年10月1日に第三セ
クター「くま川鉄道」としてスタートし、本年度
で25年目を迎えています。これまで、沿線5高
校の学生の通学手段として、また地域住民の方々
の移動における大事な交通手段としてやってきて
おりますが、生徒数も年々減少し、併せて車両も
経年による劣化などで車両更新の必要性が叫ばれ
てまいりました。安全で安定した運行を行うこと
は申すまでもなく、収入拡大の面からも、観光面
にも活用できることを考えて、今回の「田園シン

フォニー」の導入になりました。後ほど内容を説明します。

資料の末尾に参考として全国の第三セクターを掲載しております。35の会社がありますが、北越急行や智頭急行などは黒字のようですが、ほとんどが経営は厳しいようです。

2ページです。営業キロは24.8kmです。駅の数は14駅です。車両数は新旧8両ですが、将来は新型車両5両となります。製造会社は新旧とも、新潟トランスです。保安方式として、タブレット閉そく方式をとっていますが、全国では秋田県の由利高原鉄道が使っています。単線のところでのやり方で、なかなか珍しいやり方ようです。列車本数は15本です。

中段から、輸送人員並びに高校生の利用について記載しています。開業から現在までの推移を出しておりますが、25年経過して輸送人員が5割程度までに落ちています。高校生の通学定期が収入の大半を占めているのですが、毎年20～30人ほど減少していますので、運賃額として、300～400万ほどの収入減です。大きな課題です。この減を旅行業と観光で少しでも補っていくわけですが、なかなか大変です。本日このようなイベントなどでの車両活用はありがたいことです。

決算状況では、数字的には黒字ですが、これまで基金の取り崩しで赤字を補っていましたが、4～5年前に1億数千万円になった時点で基金取り崩しをストップして、あらたな支援制度を10市町村で作っていただき、毎年、6千万円を目安とした援助を受けているところです。実質赤字です。

3ページ～4ページです。「田園シンフォニー」について概要を説明します。別紙1で車両のコンセプトを載せております。工業デザイナーの水戸岡鋭治先生からいただいた文章の内容を了解のもと、一部修正して作成しております。後ほど読んでいただければと思います。

車両の概要です。長さは旧車両より長く、18.5mです。現在3両が走ってまして、車体の色は、冬のブラウン、秋の赤色、春のベージュです。夏のブルーと霧をイメージしたと思われる白秋の白色、この2両が年末に入ると5両が揃い、全体が完成です。楽しみにしているところです。

車内はそれぞれ特色あるものとなっておりますが、特に材質は地元産のヒノキを使って製造していただいております。

車両費用は1両1億4千万円です。国・県の補助を観光面を除いて3分の1ずついただき、残りは地元市町村からのご支援によるものです。



新車両『田園シンフォニー』

◎コンセプト 水戸岡鋭治の描く世界

◎車両紹介

○車両の概要

- ・車両の定員 座席40人 全体110人
- ・車両の重量 31.3t (空車)
- ・車両の長さ 18.5m (旧車両16m)

【平成25年度導入】3両

- 茶色 (ブラウン) 《冬》
- 赤色 (レッド) 《秋》
- 黄茶色 (ベージュ) 《春》

【平成26年度導入 (12月)】2両

- 青色 (ブルー) 《夏》
- 白色 (ホワイト) 《白秋》

計5両

○車体の特徴

- ・自動列車停止装置 (ATS) ほか
- ・バリアフリー
 - 車イス対応 (トイレ・スペース)
 - 乗降口 (段差なし)
 - スライド式ドアなど
- ・車内装飾
 - 床、壁、椅子、テーブルなど (地元産ヒノキ使用)
 - ロールブラインド (ウォールナット、メイプル)
 - 木製家具 (ナラ)
 - 本棚、ショーケース
 - 車両関連本、人吉球磨地方の特産品等を展示

運行の方法ですが、この「田園シンフォニー」はみなさんから観光列車として見られています。朝・昼・夜に高校生たちが利用していることを説明するとびっくりされます。日本一のぜいたくな通学列車であれば、日本一の乗車マナーが求められるということで、別紙2にて、5高校生による手作りの乗車マナー宣誓文を作成してもらい、オープニングの時に発表していただきました。

観光での「田園シンフォニー」ですが、午前11時11分発の列車では、普段湯前駅まで45分かかるところを1時間かけて走るというやり方で運行

をしています。途中のどこかの駅で地元の方々におもてなしをしていただくやり方でございます。

現在までの乗車状況ですが、平日は落ちますが、土曜・日曜・祝祭日は、団体や個人の方々に多く乗って頂いておりました、延べで一日平均50名を超えているところです。このまま続けることには、工夫と努力が必要です。皆様からのご意見、ご指摘、ご支援をいただきながら努力を重ねてまいりたいと存じます。

○今後の運行計画と課題

①着地型観光の成型

- ・地域の観光資源
(温泉・文化財・自然・グルメなど)を活かしたルートの検討・設定
～各駅からの交通ルートの確立
- ・旅行会社、各種団体等への営業活動・展開
- ・沿線市町村における地域特性のイベント開催による集客(三十三観音めぐり、旬夏秋冬キャンペーンほか)

②地域住民の乗車率の増

- ・「田園シンフォニー」のさらなる周知、案内
- ・各種イベント列車運行による乗車率のアップ(カフェトレイン、Xmasトレイン、観月列車各種スポーツイベント等)
- ・四季折々、沿線内外の催しなど活かしたイベント列車の運行
(ツクバ、菜の花、彼岸花、稲穂、桜…)
(自治体個々の週間おもてなしによる運行)

③地域の応援～おもてなし

- ・各駅における「おもてなし隊」隊の拡充と方法等の検討
- ・駅の清掃、花壇の設置等環境整備
沿線における定期的な草刈り、花の植え替え等
- ・沿線からの「手を振ろう」運動の展開

最後に、今後の課題として記載しております。現在は目新しいこともあり、また、全国的な放映やいろいろな雑誌等にも掲載されたりして、まあまあ乗車状況ですが、今後もこの傾向が続くとは思われませんので、おもてなしの方法などいろいろな課題に取り組む必要があると思っております。

以上でご説明を終わります。本日のご利用誠にありがとうございました。

点 鐘 鳥井正徳会長

